

嶋

三



花

鏡



三嶋  
鏡花

三嶋

こんな時間に  
どうしたんだ？

先生！

来てくださった  
んですね

お話したいことが  
あったんです

ス...



ちよ、  
ちよつと  
待った！

私、ずっと  
先生のこと...

三嶋…？

冗談だよな…？  
いつもの

せんせ

ここなら誰も  
来はしません

ただでさえこの学園は  
人が少ないんですもの

だから…

ヒミツの授業…  
してください☆

それとも

私じゃダメですか…？

だ…

あははははっ

いやですわ、せんせ  
本気にしましたの？

えっ？

いくら私でも  
そんな簡単に

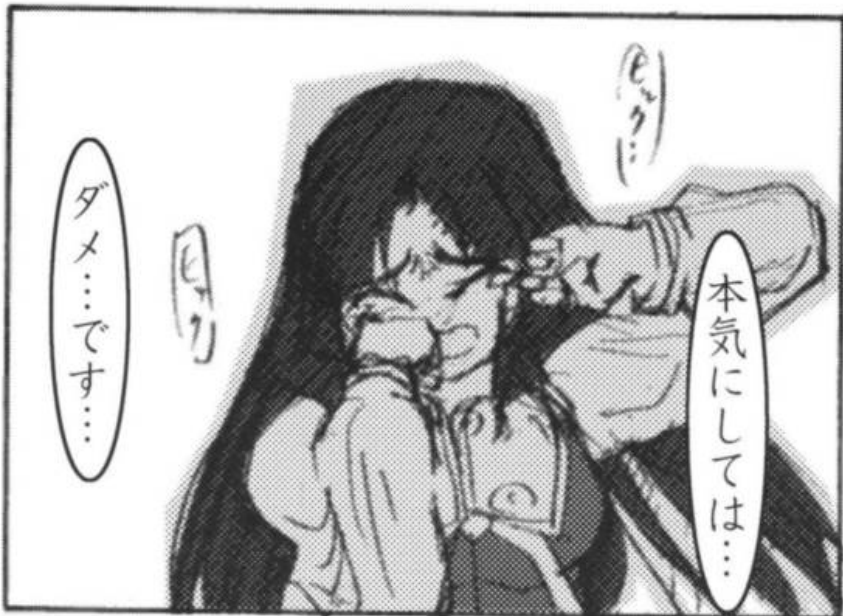
許したりしませんわ

そうです、

ごめんなさい  
冗談が過ぎ  
ましたわね



三嶋…



ダメ…です…

本気にしては…



ごめんな、  
それでも…

ギュ…



先生の言うとおり、  
私は只の生徒ですもの



先生、私、嘘を  
吐いていたんです

?

先生が冗談だと言った  
私の台詞、いつもどれだけ  
勇気を出して言っていたか  
分かりますか？

私は：  
自分で自分の気持ちに  
嘘を吐いていたんです

でも、もう  
無理ですっ

私は自分を  
騙し続けるほど  
られるほど

器用な  
女じゃないのツ

せんせ、  
好きです

私は本気  
なんです

先生

……  
三嶋、それでも  
僕は

なぜ「私」に本気で  
向き合ってくださいさ  
らないのですか？

なにを恐れて  
いるのですか？

なぜ目を逸ら  
しますの？

三嶋の言う  
とおりだ



僕は僕を捨てた両親を

アイツら

憎んでたんじゃない

僕は、  
今まで――

先生、

恐れていたただけなんだ

自分の中にある彼ら<sup>痛み</sup>を――！

人は、高い処にいるとき  
足元ばかりを見ていると前に  
進めなくなってしまうといいます

それが「人生」という  
何より高い崖なら  
尚更です





前を見て  
下さい、  
先生



ほら



怖くない、  
でしょう？

人生は一人で歩く  
ものではないと、  
教えてくれたのは  
先生ですわ



僕も同じみたいだ

あ…



…



!?

せんせ…?



三嶋

自分に嘘を吐いてたのは



わ、分かった

だめ、もお胸は…

せ、せんせ…っ

やあ：触られてるとヘンな声が出ちやいます…



あっ

ち、ちがう

服の上からじゃもう  
っらいんだらう？



は

は



あうん

三嶋、とても  
やわらかいよ

ふ

あ

はあ



ふあ

んう

違いま...あっ！  
ちがいます





せんせ……っ

ふああっ

あ……ん

ダメエ  
そんなっ



あ……ん

わたくし……

もう恥ずかしくて  
死んでしまいます……

そんな汚いトコ  
舐めないでえ……



君は君だ

どんな姿を  
してしようが、

汚くなんか  
ないよ



あーん

せんせ…



ふあああ〜っ

あーん

はーん…





はっ

指一本でも  
キツイ…

三嶋…もしかして  
こういうことするの  
初めてか？

あっ



こんなっ！っ

せんせっ



はああ

あっ…  
当たり前です…っ

ああっ



んあ

教科書に載って  
ないもんっ！



こんな…  
ああっ

ふあっ

ふあああ〜っ……!!



……ふ

うあ……

はあ



三嶋……

はあ

はあ

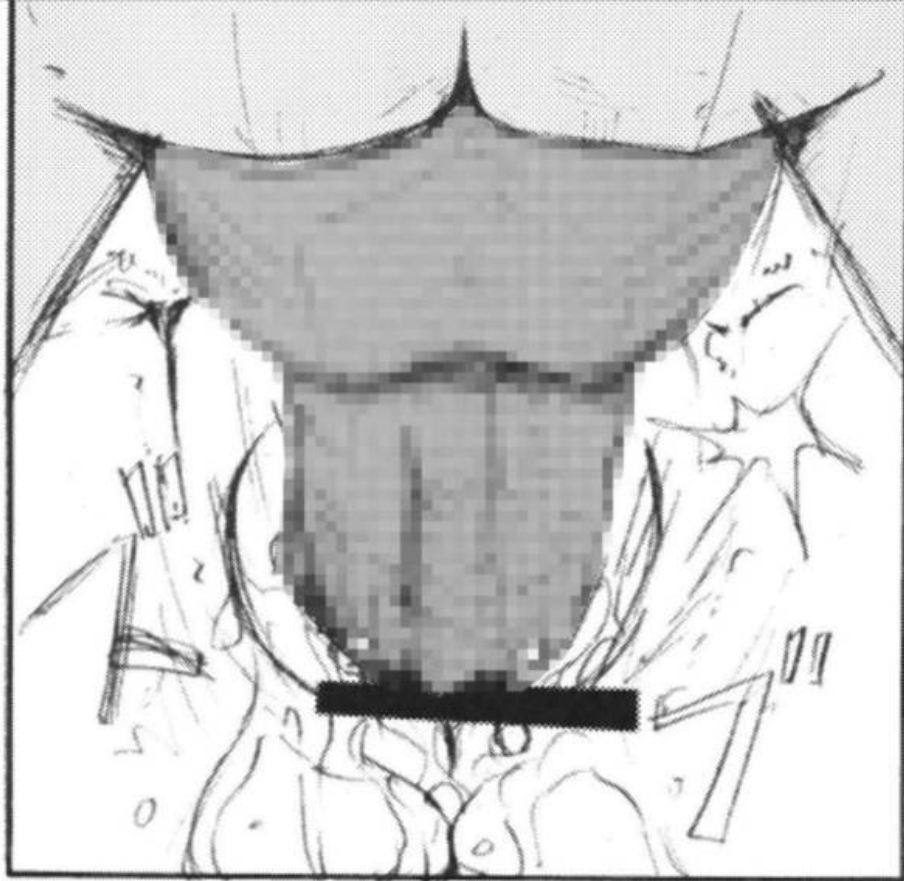
はあ

はあ



はい……

……優しく……  
して下さい……



私は大丈夫  
ですから…

このまま…  
入れて…下さい…

先…生…



ン…ウ





先生……

本当に私でよかったですの？

風祭さんに鷹月さんに八乙女さんも……いえ、

あの娘等にこそ先生が必要なのではないですか？

いや、——違うな

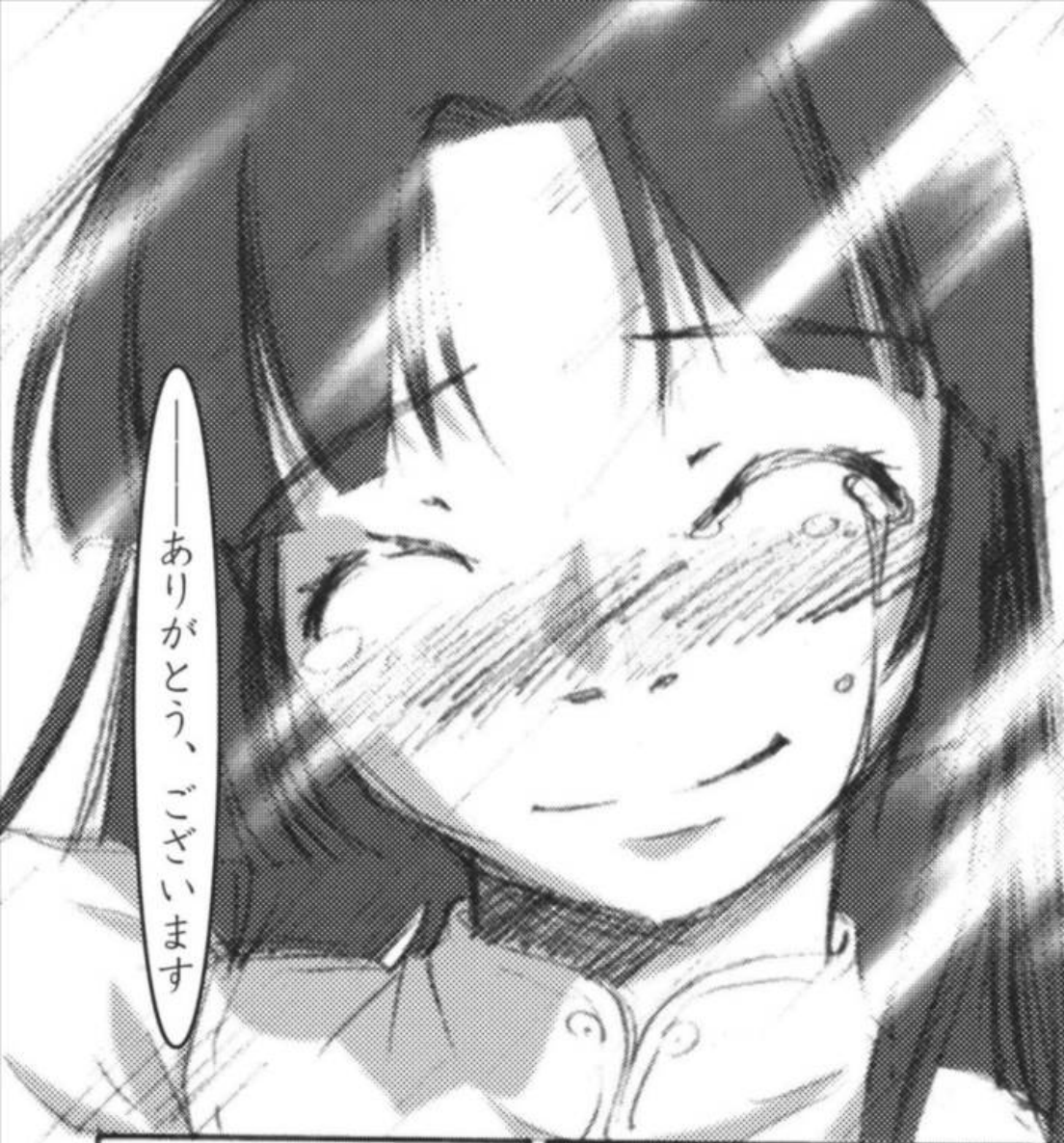
本当に僕を必要うとしているのは君だよ

あの子等は僕が手を貸してあげればきつと、自分の足で歩いて行ける

でも君は

このまま自分を偽って生きるつもりか？

……それに、三嶋に付き合ってくれと言われて断るわけはないよ



——ありがとうございます



先生……



なんだかお腹が  
きゆううつ……て  
します……っ



先生があんな  
コト言うから……  
力が抜けてしまっ  
ましたわ

あ……

どうした？



三嶋？

ん



ひやうっ!



それに、胸がすぐドキドキしてきて...



わ、わたくし

だめえっ

も...ふああっ

ああ...っ



あう

せん...っ

まっ...

あん



!!



こんな時で  
なんてさっ

ふあっ

初めてのキス  
だったのにい

あ

はっひ  
せんせつ

はっひ

んん



鏡花っ

好きだっ…







んあっ

はあ

司さん

あう

司さんっ

はあっ

ふあっ

司さんあんっ

はあっ

せん...  
司さんっ

鏡花、

鏡花っ

鏡花っ

鏡花あ

鏡花っ!



あーっ

ああ

ふあああーっ

やあーっおく

おくに、  
あたって…

あ



あ…

はあ…あ…

！部屋に戻ってきてまたやってた人たち



司さん…



司さん？

そう悲観する  
こともないさ、鏡花

折角好きだと言ってくれても、  
三嶋の家がなくなった私に  
何が出来るというのだろう…



君は今この不自由な  
学園の中で



私は今、司さんのいる  
場所から地球上で最も  
遠い処にいます



自…由…

もつとも自由な  
人間なんじゃないか？

司さんが言ったその  
言葉が、私を突き  
動かしたのかも  
しれません

風祭さんにはヘッド  
ハンティングの件を  
断ってしまったこと、  
申し訳ありませんと  
伝えておいて下さい

世界中を回って、たくさんの人と  
出会い知り合っていく内に、今更  
ながら私が見てきた世界がどれほ  
ど小さかったのか思い知りました

でも、先生の教え  
てくださった授業  
は今、この地で生  
きています



司さん、  
世界は広大です。



その後、風祭の珠玉と言わしめ、世界でも一、二を争う教育機関となる凰華学園。その功労者である学園長こそ、滝沢鏡花その人である。

★ あとがき

正直、なぜかにしのなのか分かりません。というかまだこのサークルがどういう傾向なのか分からない。とりあえず触手と巫女はすきなのでそっちの方向に流れて生きたい。と思います。

かにしのはなかなか本格的な設定とか作りだったので満足できました！とりあえず三嶋は好きですがスミスミもよいです。本編で剥く事が出来なかったのここで剥きました。

とりあえず三嶋ルートはこんな感じになるんじゃないだろうか、という感じで。ちょっと真面目にやりすぎましたけどホントはもっとおちゃらけたのも描きたいとか思ってますよ？この本作るためにファンブック買ったんですが結構設定無視してるところがあるような気がします・・・もっとうまく漫画描けるようになりたいですね。 神鳴る冬



# 三嶋鏡花

---

\* 発行者 カメモシ / 神鳴る冬

\* 発行日 2007/12/31 COMIC MARKET73

\* 印刷 トム出版様

\* 連絡 [shintani@pop16.odn.ne.jp](mailto:shintani@pop16.odn.ne.jp)

\* HP <http://www.geocities.jp/kaminaru14142/>

\*\*\* 成人向けの内容ですので18歳未満の方の購入閲覧はご遠慮ください





三嶋 ONLY

BY KAMEMUSI

遙かに仰ぎ麗しの  
FAN BOOK  
ADULT ONLY!